



1

2025

名古屋青年

NAGOYA YMCA NEWS

No. 783

昭和 27 年 5 月 13 日 第三種郵便物認可
毎月 1 日 (月刊 定価 1 部 60 円)
(購読料は YMCA 会費に含まれています)

●発行所 公益財団法人名古屋 YMCA

〒464-0848 名古屋市千種区春岡 1-2-7

☎ 052-757-3331

●発行人 中村 隆

●編集人 名古屋 YMCA 広報

久保田 関山 書

夢見人

公益財団法人名古屋 YMCA 理事長 川本 龍資

謹んで新年のお慶びを申し上げます。YMCAを愛するみなさまの旧年中のお支えに心からの感謝を申し上げますと共に、本年も変わらぬご支援をどうぞよろしくお願ひ申しあげます。

世界のYMCAが同じ方向に歩むための世界YMCA「VISION-2030」の行動計画を取り込んだ名古屋YMCA「MAP-2030」の二年目を迎えた二〇二五年の幕開けとなりました。幼児保育事業、学童保育事業、学童発達支援事業、青少年事業、グローバル事業に携わる教職員のみなさま、地域ボランティア活動に携わるユースボランティアリー・シニアボランティアのみなさま、そしてこの事業・活動に大切なお子さまをYMCAに送り出して下さっている保護者のみなさまのお力添えにより、現在名古屋YMCAは順調な業績で推移しています。

更にプラスシュアップし、地域とみなさまに有益なYMCAであり続けるために、新年に当たり一緒に夢を見ていただきたく、一つご提案申し上げます。

二〇三〇年名古屋YMCAのあるべき姿をそれぞれの立場で、それぞれの目線で思い描いて欲しいのです。「こんなYMCAになっていて欲しい」YMCAにはこれが必須だ!」などなど・・・。

みなさまの「あるべき姿を」集約し、「青写真」ができたら、それに向かってそれぞれがゴールを目指す。やがて、五年前に見た「夢」が「現実」となるのです!

”夢を見よう あなたと生きるこの道は

約束の未来へ続いてる”
(ゴスペルソング「夢見人」の一節)

1995年1月号 卷頭『後にいる者が先になる』野村秋博氏

ボランティア・アソシエーションとして

約180年前の1844年、ロンドンで誕生した世界最初のYMCAは、12人の青年ボランティアの祈りから組織されました。1880年、日本で最初に創設された東京YMCAもボランティアの熱い祈りから誕生しました。1959年、伊勢湾台風が愛知・三重を中心に猛威を振るい甚大な被害を及ぼしました。その時も全国のYMCAは協力し、多くの救済・支援活動を行いました。「ボランティア元年」と呼ばれる遙か以前からYMCAはボランティアの働きによって運営されてきました。ボランティアには次の4つの原則があると言われています。①自主性・自発性②社会性・連帯性③無償性・無給性④先駆性・創造性、私たちは社会の課題に対して自発的に関わり、社会を良くしていくために行動する団体です。今の名古屋YMCAには多くのユースボランティアや中高生ボランティア(インタークトクラブ)が自発的に「誰かのために」活動をしています。シニアボランティアも思いを一つに元気に活動しています。私たちは、創設時の熱い思いや困難な時に為すべき働きを覚えながら、これからも歩み続けたいと願います。

名古屋青年

NAGOYA YMCA NEWS

No 529

昭和56年1月13日 第二回定期刊行
毎月 1日 (月刊 別冊 1冊 30円)
〔購読料50円で加入料は不要です〕

2

1995

発行所 名古屋キリスト教青年会

〒460 名古屋市中区上若津2-5-29 ☎ 052-331-6748

発行人 松本 勝也 ●編集人 松本 勝也

●

がんばれ神戸のおともだち









春よ来い
夢見し人々に
生きる意味探す人々に
明日を下さい

春よ来い
夢見し人々に
心より願う人々に
愛を下さい

春よ来い
生きる人々に
命を下さい

「春よ来い」

冬の夜
こたつに入りながら
うたた寝し 合格の夢を見た
時は流れでまた 春将ちんが
あの日の僕のよう 一夢を見ている
この星を傷つけ続けて僕らに
涙を枯らした星は 警告を与えた
バブルにのみれた僕らも 命の尊さと
自然に対する無力さを再び知る

1995年2月号 卷頭『春よ来い』

■ 復刻版に思いを寄せて

30年前の1995年1月17日5時46分、淡路島北部を震源地としたマグネチュード7.3の地震が発生し、震源地に近い神戸市を中心に甚大な被害を受けました。神戸YMCAも大きな被害を受けましたが、すぐに災害対策本部を立ち上げ、全国のYMCAの仲間と共に被災者の支援と被災地の復興のために尽力しました。その時に献身的に奉仕したのが、「困っている人たちを何とかしたい」という思いを持った全国のボランティアの人たちでした。今までボランティアの概念が低かった日本において、この1年間で137万人のボランティアの人たちが活動を行った事から1995年を「ボランティア元年」と呼ぶようになりました。その後、災害が頻繁に起こる日本においてボランティアの働きは行政を補完する働きとして捉えられNPO法人が設立されるきっかけとなりました。昨年1月に発生した能登半島地震においても多くのボランティアが活動を継続しています。

学校法人 名古屋YMCA学園 理事長
公益財団法人 名古屋YMCA 総主事 中村 隆

子どもたちのクリスマス



こひつじ保育園

クリスマスおめでとう

絵本「いのり」の曲を聞き、静かな気持ちで始まったクリスマス会。さんびか「アドベントクランツに」に合わせて4つのクランツに灯りがともっていくのを、目を輝かせながら見つめる子どもたちの姿がありました。礼拝の中では、アドベントの日々で歌ってきた♪おほしがひかるを身振り付きで歌い、絵本を通して、園長先生からクリスマスのお話も聞きました。1人ひとりが献金をお捧げした後、0歳児は壁飾りを貼り、1・2歳児は各年齢で制作したものを貼り合わせたツリーを



作って、「クリスマスおめでとう」とお祝い。その声を聞きつけてやってきたサンタさんにプレゼントをもらい、楽しい気持ちでクリスマス会を過ごすことができました。

(保育士 古賀 千尋)



南山幼稚園

クリスマスの日々

クリスマスを楽しみに待つアドベント、クランツに灯りが増えていく月曜日には、朝の挨拶を交わしたすぐ後に、「今日ろうそく2本つくよね！」と嬉しそうな子ども達の姿が見られました。南山幼稚園では毎年、保護者の方と共にクリスマス礼拝を守っています。そして、聖劇を通してイエスさまの誕生をたくさんの方に伝える時をもちます。年長児は1人1役、年中児はお星さま、年少児は羊役を担い、幼稚園全体でイエスさまのお誕生をお祝いする思いを持って過ごします。役を決める時には一人ひとりの思いを尋ねてみました。「暗い夜の間も羊を守る優しい羊飼いに僕はなりた



い。」「天使になって、踊りで喜びを伝えたい！」それぞれの思いを持って、当日の聖劇に向けて取り組みをしてきました。クリスマス当日には、保護者の方の見守りの中、一人ひとりが輝き、温かい時を過ごす事ができました。

(年長担任 小浦 佑真)



かりやYMCA保育園

感動溢れるクリスマス

12月14日(土)開園から3度目となるクリスマス会を行いました。今年度は縦割り保育をしている4歳児19名、5歳児3名でページェント(聖劇)に取り組みました。昨年3~5歳児で取り組んだページェントに、新しい讃美歌や台詞が加わりました。最初は覚えることに不安な姿も見られましたが、「いい歌だね！」と皆で



共感し合う姿から始まりました。アドベント期間には、各自で台詞カードをこっそり読み練習したり、台詞のタイミングに戸惑う友だちに優しく教えてあげたりするなど、支え合う姿が見られるようになりました。当日はたくさんの保護者の皆様が温かく見守る中、とても良い緊張感で堂々と喜びをもってクリスマスの物語を届けることができました。

(保育士 桐原 りづむ)

ピンクシャツデー2025 告知

是非ご参加ください!!

ピンクシャツデーは、YMCAで毎年行っているいじめ反対運動です。

今年は「私らしく あなたらしく」をテーマとし、ひとりひとりが「私らしく」いきいきと、そして他者の「あなたらしさ」も尊重し認め合っていこう、という思いが込められています。

各拠点では、「ハートを広げよう！～自分の好きなところを書いてみてね～」というワークに取り組んでいただきます。折り紙を折ったりちぎったり、また自分の好きなことを書きこんだりし、模造紙に貼りつけみんなでハートを大きく広げていくというものです。それぞれが自分らしく折り紙で自分を表現し、それがひとつ、ふたつと集まることで、たくさんの人のその人

らしさが集まった大きなハートが出来上がります。

また昨年度に引き続き今年も学生リーダーたちが紙芝居を作成してくれているほか、InstagramやYoutube、FacebookなどのSNSでも活動やいじめ反対のメッセージを発信していきます。

是非チェックしていただき、皆様のご参加をお待ちしております！



維持会員感謝・ご寄付感謝 (2024年10月21日～12月20日) ※クリスマス献金をいただいたみなさまは、次月号にてご紹介いたします。

維持会員

(新規) 堀尾 賢

(継続) 山本 徹 桐原りづむ 亀井 香奈 生田美沙華 渡邊 采 都築 正和 鈴木 誉三
山口 幸子 福田 忠徳 川本 龍資 川本 清美 永田 愛弓 田島 詳子 川本梨紗子

寄付金・募金

(クリスマスキヤロル) 千年エンジニアリング 川本サービス株式会社

(かみさわ保育園10周年記念基金) 中村 美沙 飯沼 結愛 杉山 弘時 田口恭仁子 植田奈々絵 宇佐美三奈子
永治 真弓 石田喜美子 志賀 愛子 配藤 篤哉・尚也

(国際協力募金) 塩田 保 安藤 千尋

(チャリティーラン) 塩田 保 藤田螺子工業株式会社 中京綜合警備保障株式会社

(一般寄付) 松浦 剛 山口 幸子

ワイズコーナー 1月例会の予定

名古屋	2025年1月14日(火) 19:00～	卓話「ミライタワー秘話」 講師：名古屋テレビ塔(株) 大澤和宏社長	名古屋YMCA
名古屋東海	2025年1月9日(木) 18:45～	卓話 講師：三枝 隆氏(名古屋YMCAスタッフ)	ラ・スースアン
名古屋 グランパス	2025年1月11日(土)	新年会	魚々美

早天祈祷会

1月の早天祈祷会はお休みです。

お問い合わせ

名古屋YMCA 052-757-3331
YMCAこひつじ保育室 052-757-5530
南山ファミリーYMCA 052-831-6968
南山幼稚園 052-831-8271
神沢ファミリーYMCA 052-879-6300
YMCAかみさわ保育園 052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院 052-531-0077
発達サポートYMCAかみさわ 052-879-6300
かりやYMCA保育園 0566-62-8227



<https://nagoyaymca.org>

名古屋YMCA 使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2024年度聖句

「見よ。なんという幸せ なんという楽しさだろう。兄弟たちが一つになってともに生きることは。」(詩編133篇1節)